

2023年度 事業計画書

(2023年4月1日から2024年3月31日)

【公益目的事業／ 吉川英治賞の授与】

(1) 吉川英治文学賞の授与

生前吉川英治が国民文学に遺した偉業を記念して吉川英治文学賞を授与。

- ・最も優秀な文学作品を発表した作家を選ぶ。
- ・対象期間は2023年1月1日より同年12月31日までとする。
- ・各文化機関及び文化人等に文書で依頼して推薦をうける。
- ・選考委員会を設け、慎重審議のうえ決定する。
- ・選考委員は浅田次郎、五木寛之、北方謙三、林真理子、宮城谷昌光、宮部みゆき（敬称略、以下同）
- ・賞牌及び、副賞として金参百万円を贈呈する。

(2) 吉川英治文庫賞の授与

優れた大衆シリーズ文学作品を発表した作家に吉川英治文庫賞を授与。

- ・吉川英治文庫賞にふさわしい大衆シリーズ作品を発表した作家を選ぶ。
- ・対象期間2022年12月1日より2023年11月30日までとする。
- ・出版社の代表者、識者、出版流通関係者等に選考委員を委嘱し文書で推薦をうける。
- ・選考委員会を設け、慎重審議のうえ決定する。
- ・立会人は逢坂剛、前年授賞者
- ・賞牌及び、副賞として金百万円を贈呈する。

(3) 吉川英治文学新人賞の授与

最も将来性のある新人作家を選び吉川英治文学新人賞を授与。

- ・吉川英治文学新人賞にふさわしい小説を発表した新人作家を選ぶ。
- ・対象期間は2023年1月1日より同年12月31日までとする。
- ・各文化機関及び文化人等に文書で依頼して推薦をうける。
- ・選考委員会を設け、慎重審議のうえ決定する
- ・選考委員は朝井まかて、大沢在昌、京極夏彦、辻村深月、村山由佳
- ・賞牌及び、副賞として金百万円を贈呈する。

(4) 吉川英治文化賞の授与

日本文化の向上に尽くし讃えられるべき業績をあげながらも、報われることの少ない人、或いは団体を発掘賞揚し、文化賞を授与。

- ・各公共団体及び、文化人等に文書で依頼して推薦をうける。
- ・選考委員会を設け、慎重審議のうえ決定する。

- ・選考委員は阿川佐和子、平松洋子、堀田力、柳田邦男、山本一力
- ・該当者は3名以内（または団体）。賞牌及び、副賞として1件金百万円を贈呈する。

尚、吉川英治文学賞、吉川英治文庫賞、吉川英治文学新人賞、吉川英治文化賞は「吉川英治賞」として、2024年4月11日帝国ホテルにて贈呈式を実施する。

【収益事業／ 事務室等の賃貸事業について】

- (5) 公益目的事業推進達成のための不動産賃貸事業（事務室、駐車場、広告板）。現在の居住者及び管理者で継続。

賃貸状況

- ・ビル所在地： 東京都文京区水道 2-9-2（地上8階地下1階）
- ・ビル竣工： 1990年（築33年）
- ・事務室賃貸： キングレコードグループ（全室）継続
- ・駐車場： 同上（3台）継続
- ・広告塔他： キングレコード（1件）継続
N T T ドコモアンテナ設置（1件）継続

長期修繕計画について

コロナ禍の影響により2022年度より順延となっていたエレベータ更新工事は、2023年8月更新工事着工の予定。

【資金調達及び設備投資の見込みについて】

2023年度の資金調達及び設備投資の見込みの予定はありません。

以上

収支予算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 特定資産運用益	33,600	
② 事業収益	49,973,000	
吉川英治賞事業費	0	
不動産貸付事業収益	49,973,000	
③ 雑収益	1,100	
④ 受取寄付金	0	
経常収益計	50,007,700	
(2) 経常費用		
① 事業費		
吉川英治賞事業費	39,060,000	
不動産貸付事業費	19,485,910	
事業費計	58,545,910	
② 管理費	785,000	
経常費用計	59,330,910	
当期経常増減額	△9,323,210	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
受取寄付金振替額	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
当期経常外増減額	0	
法人税・住民税及び事業税	70,000	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	△9,393,210	
一般正味財産期首残高	509,012,564	
一般正味財産期末残高	499,619,354	
II 指定正味財産増減の部		
一般正味財産への振替額	0	
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産期末残高	499,619,354	